

自治体名	宮城県東松島市
日時	2014年12月10日(火)18:30～20:30
場所	東松島市コミュニティセンター
出席者	東松島市教育委員会、東松島市体育協会、東松島市スポーツ推進委員
テーマ	総合型地域スポーツクラブの設立に向けて
議事要旨	<p>東松島市では、総合型地域スポーツクラブの設立について検討している。設立に向けて準備をするにあたり、地域におけるスポーツの現状と課題について意見交換を行った。</p> <p>出席者からの主な意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者や審判の高齢化が進んでおり、次世代の育成が急務である。しかし、若者のスポーツ離れも進み、協会等に所属してスポーツをする機会も減っているため、指導者や協会運営に関わろうとする人が少ない。</li> <li>・ 指導者の確保のためには、指導者への謝金の支払いは必要である。</li> <li>・ 現状で、多くのスポーツ団体が存在しているのに加えて、新たに総合型地域スポーツクラブを設立、運営するには、その意義を地域住民が理解し、活動を浸透させていくことが必要不可欠である。</li> <li>・ 東日本大震災後、子供の体力が低下したり、スポーツができない状況にあったりすることが課題となっており、スポーツをするきっかけづくりすることが重要である。</li> <li>・ 東松島市には、総合武道施設、人工芝のグラウンドがなく、施設整備も必要である。一方で、東日本大震災の影響を受け、改修しなければならない施設も多く、限られた施設を活用しなければならないという現状を好機と捉え、スポーツ施設の利用方法を検討していくことも可能ではないか。</li> </ul>
まとめ	<p>東松島市では、山形県の総合型地域スポーツクラブを視察したり、各出席者が勉強会に参加したりと、総合型地域スポーツクラブに対する理解は進んでおり、クラブを設立するメリット、デメリットについて意見交換が行われていた。しかしながら、指導者や審判の高齢化は大きな課題となっている。同様に、クラブを運営できる人材の確保といった視点も重要である。また、東日本大震災からの復興段階にあり、施設面、人々の心理面でもスポーツの実施に課題があることが伺える。今回の意見交換会より、総合型地域スポーツクラブの設立に向けての課題は以下にまとめられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導者、審判、クラブ運営における次世代の育成</li> <li>2) スポーツ施設の利用方法の検討</li> <li>3) 総合型地域スポーツクラブに対する住民の理解促進</li> </ol>